

# 未来創生

Create the Future

## 市長に就任してから2年が経過し、 任期の折り返しを迎えました

広報8月号に引き続き、この1年に取り組んだ「主な取り組み」と「財政状況」「新型コロナウイルス感染症対策 市独自施策」についてご紹介します。  
タイトルの『未来創生』にあるように、これから魅力ある羽曳野市をカタチにするため、さらなる成長・発展に向けた歩みを進めてまいります。

羽曳野市長 山入端 創



## 市民協働・地域自治 市民の声をお伺いする機会を充実しています

- 市民の意見等を市政に反映し、地域の実情に即したまちづくりを推進するため、公募形式のタウンミーティング（対面形式 / オンライン形式）や、市内7地区における地域区長懇談会を開催

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等により変更する場合があります。

- 事業者や大学等との公民連携の推進（令和3年8月以降の協定締結〔包括、個別、災害〕計30件）

など



▲地域区長懇談会の様子



▲包括連携協定締結式（令和4年7月 大阪大谷大学）

## 魅力あるまちづくり 豊かな地域資源や特性を最大限に活かした取り組みを進めています

- さらなる返礼品の充実（406品目）により、令和3年度のふるさと納税寄附額が1億円超えに（令和元年度比6倍強に）

- 観光によるまちづくりを推進するため、(仮称)羽曳野観光局を設立（令和4年10月設立予定）

- 当市にゆかりのある、ダルビッシュ有氏がスポーツ・観光大使に、笑福亭仁智氏が文化大使に就任

- 高鷲北幼稚園跡地において、安全で安心してボール遊びができる広場の整備

- 民間事業者と連携し、大阪府立環境農林水産総合研究所が墓山古墳の濠水から培養したオリジナル産業用酵母を用いた特産品の開発促進

- 公有化した史跡地の周知を図るため、史跡地等への解説看板を設置

- 藤井寺市とともに古市古墳群の保存・活用に向けた取り組みを強化

- 多様なニーズや新たなライフスタイルに対応するため、パソコンやスマートフォン、タブレットで電子書籍が閲覧できる電子図書館サービスの導入（令和4年10月～）

- 図書館を利用しやすく、利用の促進を図る図書館アプリの運用・読書手帳の配布、Twitter・Instagramによる情報発信

など

羽曳野市公式 YouTube チャンネルより

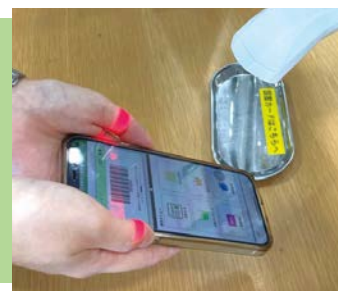


▲羽曳野の魅力が詰まった返礼品をご用意しています。（時期によって写真の返礼品が終了している場合があります）

▶安全で安心な、ボール遊びができる広場の整備を進めています。（高鷲北幼稚園跡地）



※イメージ図



※スマホイメージ画面

▲図書館アプリは、スマホなどにバーコードを表示、提示で本を借りられます。予約も簡単！

## 行財政改革の推進 徹底した行財政改革を力強く推進しています

- ICTによる利用者の利便性の向上・業務の効率化の推進
  - ・行政手続きのオンライン化の推進
  - ・申請書などの文字を読み取りデータ化するAI-OCRを導入
  - ・金融機関への預貯金照会を電子化するシステムを導入
  - ・議会運営においてタブレット端末の導入による議案のペーパーレス化等を推進
- 持続可能な行財政運営や受益者負担の公平性の観点から、住民票の写し・所得証明書等の各種証明書の交付手数料等を改定（令和4年10月～）
- 持続可能な下水道事業の経営健全化に向け、下水道使用料を改定（令和5年4月～）
- 耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館の新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画の策定

- 人事評価制度において実績評価を導入
- 公共施設の効率的な運営に向けた指定管理者制度の拡充（令和4年4月から道の駅しらとりの郷・羽曳野、グラウンド・ゴルフ場に導入。峰塚公園にも導入予定。）
- 公共施設の運営の見直し（図書館に休館日の設定・高年生きがいサロンの開館時間の変更）

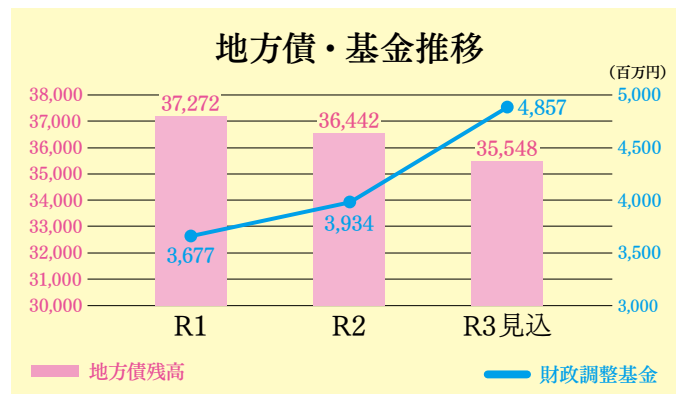
など



▲現在の羽曳野市役所本館と議会棟（昭和49年1月落成）

## 財政運営

財政状況については、借金にあたる「地方債」の残高を着実に減らしながら、自主財源の増収策を講じるとともに、総事業の見直しによる事業費の削減等により、貯金にあたる「基金」の残高は増えています。しかしながら、今後予定される庁舎や給食センターの更新事業などに伴って「地方債」残高の増加が見込まれるなど、財政状況の厳しさは増していくものと考えられるため、引き続き、財政規律をしっかりと守りながら、メリハリをつけた財政運営を行ってまいります。



## 新型コロナウイルス感染症対策 令和4年度 市独自施策

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける、市民生活への支援や地域経済の活性化に向けた取り組みを進めています。

- インフルエンザ予防接種にかかる費用を受験を控えている中学3年生・義務教育学校9年生、高校3年生を対象に公費助成（令和4年10月～）
- 多子世帯の児童・生徒の保護者に対して小学校・中学校の給食費を助成
- 新型コロナウイルス感染症対策（密の防止）や熱中症防止、指定避難所としての環境改善を図るため、小・中・義務教育学校における体育館の空調設備を整備（令和4年度・5年度で整備）
- コロナ後における当市の観光・シティプロモーションの促進（PR動画等の策定）
- 市民1人あたり最大5,000円分のプレミアム付き商品券（はびきの暮らし応援商品券）を販売  
⇒1冊5,000円分の商品券を2,500円で販売。  
≪還元率100%≫1人2冊まで購入可能。

